

6月8日 「台風がやってくる」と

先週、日本列島に台風が近づいてきました。6月3日（水）には学校がお休みになってしまいましたが、その日の午前中、とても強い雨が降りました。平年の6月の1か月に降る雨の量が、この日の6時間で降ってしまう位たくさんの雨が降りました。

校庭にもたくさんの雨が降り、幼稚園のアヒル「ちょこちゃん」も少しさびしそうでした。

さて、台風が来ると、大変なことがたくさんあります。雨が多く降りますので、川の水が増水します。写真の川は東京都にある川ですが、もうすぐあふれそうです。また、木が倒れて道がふさがれると、人や車が通れなくなります。電車が止まってしまうこともあります。農業用のビニルハウスが壊れてしまうという被害もありました。農家の方は本当に大変です。そして、学校が休みになるのも困ります。家にいて一人で勉強をしなければならぬのは大変です。学校に来てみんなで勉強した方が、分かりやすいし、楽しいですね。

このように、台風が来ると「こまる」ことが多くあります。

一方で、写真を見てください。水が少なくなったしまったダムです。最近、雨が少なく、水の量が減ってしまいました。でも、台風の雨で、ダムの水の量が増えたところがあるそうです。ダムの水が増えると、飲み水や農業用水に使うことができます。また、台風で海の中がかき混ぜられると、海の底のプランクトンが水面に上がってきて魚のえさになるので、魚にはうれしいことかもしれません。魚が大きくなれば、魚を捕る漁師さんもうれしいでしょう。台風は、森林を豊かにする作用もあります。風で森林の木が倒れることがありますが、木が倒れた場所は日当たりが良くなり、そこから新しい命が生まれ、森林全体が元気になるそうです。



こちらの方は、台風が来ると「うれしい」ということになります。

このように、同じ「台風が来る」ということに対して「こまる」と考える立場と「うれしい」と考える立場があり、正反対の感じ方、考え方になるということが分かります。

このようなことは、台風だけでなく、様々なときに起こります。「同じことでも、見方によって、感じること、考えることはちがうんだね。」と画面に出しましたが、みなさんが友達とトラブルになったり言い合いになったりするときは、こういう見方の違いから生まれるのではないのでしょうか。

少し落ち着いて、相手の人はどのように感じ、考えているのだろうということをふまえて行動すれば、トラブルは防げるのかもしれませんが。

今日は、台風が来たことをもとにして、立場によって考え方が違って来る、というお話をしました。

